
木立の中で

サシダ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

木立の中で

【Nコード】

N7962A

【作者名】

サシダ

【あらすじ】

夢から覚めた俺は夏休み早々・・・

目覚め

まるで幽体離脱した魂がいきなり身体に戻るように、俺は重力のよ
うなものを感じながら自らの脳が造り上げた夢の世界から、まぶし
い日差しによって現実世界へと戻った。

まだ朝だと思っていたが、日光がやけに強い。
時間を知るため、時計を探す。

が、昨日あったはずの場所に時計はなかった。
不思議に思いながら周りを探した。

時計は元々あった場所から遠く離れた廊下の上で無惨に転がって
いた。

原形は留めておらず、昨日設定した六時ちょうどところで針は止
まっていた。

やれやれ、夏休み早々やっちゃったよ。幸い親は旅行に出掛けてい
た。なんでも、結婚記念日だそうだ。頼むからクソ暑い夏をこれ以
上暑くすんなよ。今頃ハワイのダイヤモンドヘッドを眺めている
であろう両親の行動力を半分羨ましく、半分恨めしく思いながら起
床した。リビングの時計は午後二時を指していた。

突然の再会

「……………暑ッ！！何をしても真夏の暑さは時を選ばず、俺に熱気をはこび、俺の体力とやる気を奪っていく。」

今なら世界が減んでも、暑いと思うことの方が重大だろう。それほどまでに今の俺の家は暑いのだ。なにせ、俺の家は代々続いている神社なのだから。厳格な神主である両親はクーラーなるものや扇風機を我が家に持ち込むことを災いとし、おかげで家にはうちわと扇子しか暑さをしのげるものはない。両親は、

「2つあるからまだいい。」

と、言っていたが、うちわと扇子の使い道は扇ぐ以外に思いつかなかった。

扇ぐものが二種類あるからって状況変わるわけ無いだろ！あまりの過酷さに俺は少し目頭を濡らした。ふと、境内に植えられている大きな木に目をやった。木の周りには暑のせいかな、寿命なのか、けっこうな数のセミが死んでいた。ああ、俺もあんな風に死んでいくのか……………。あまりの暑さとおびただしい数のセミの死体で俺の精神はすりへり、目の前の景色が陽炎のようにゆらゆら揺れた。揺れ動く視界の中でひとつだけ、と言うよりは一人だけ俺の目にマトモに映った人がいた。思わず、俺は境内に出ていき、その人へ近づいていった。ここからだと後ろ姿しか見えない。

「あの……………」

声を掛けようとしたら、いきなりその人が振り返った。髪型はショート、整った顔立ちで茶色の瞳。服装は真っ白なブラウスに濃紺な色のスカート。黒のソックスに黒い靴をはいていた。素敵な人だった。

「こんにちは」

いきなり挨拶されたからちょっと動揺。その動作がおかしかったのか、彼女は少し笑っていた。彼女に笑われたことが妙に恥ずかしかった。何故だか知らないが、ずっと昔にもこんなこと

があったような気がしてならなかった。すると彼女が、

「やっと会えたね、浅岡君！昔と全然変わってない」

それを聞いた俺は走馬灯のように（もし本当なら、死ぬ直前なのだが）昔の記憶がよみがえってきた。それは、幼稚園の時の記憶。仲のよかった女の子が遠く離れた所に引越してしまった時の儚い記憶。今思えば初恋の人だった彼女が12年ぶりに俺のにいる。

「もしかして…サヤノ！？」

「当たり前！久しぶりだねえ！」

自分も昔と変わらないハイテンションのくせにと

思いながら、
「いつから帰ってきてたのか？」

と聞いた。

「今日だよ」

」

と、サヤノはまた、ハイテンションで答えた。

「そっか……」

俺は夏休みの初日にサヤノに会えたことに少しドキドキした。なにせ、12年ぶりの再会なのだから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7962a/>

木立の中で

2010年10月11日01時34分発行